

# ボールの特性レポート

## BALL REPORT



ボール名 <b>ディスラプション</b>	投球者 <b>徳江 和則</b>	センター <b>平和島スターボウル</b>
RG <b>2.460</b>	△RG <b>0.040</b>	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

**テストボール：ディスラプション**

フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離  5 インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤

番

**比較対照ボール：イラプション**

フレアーの幅  インチ

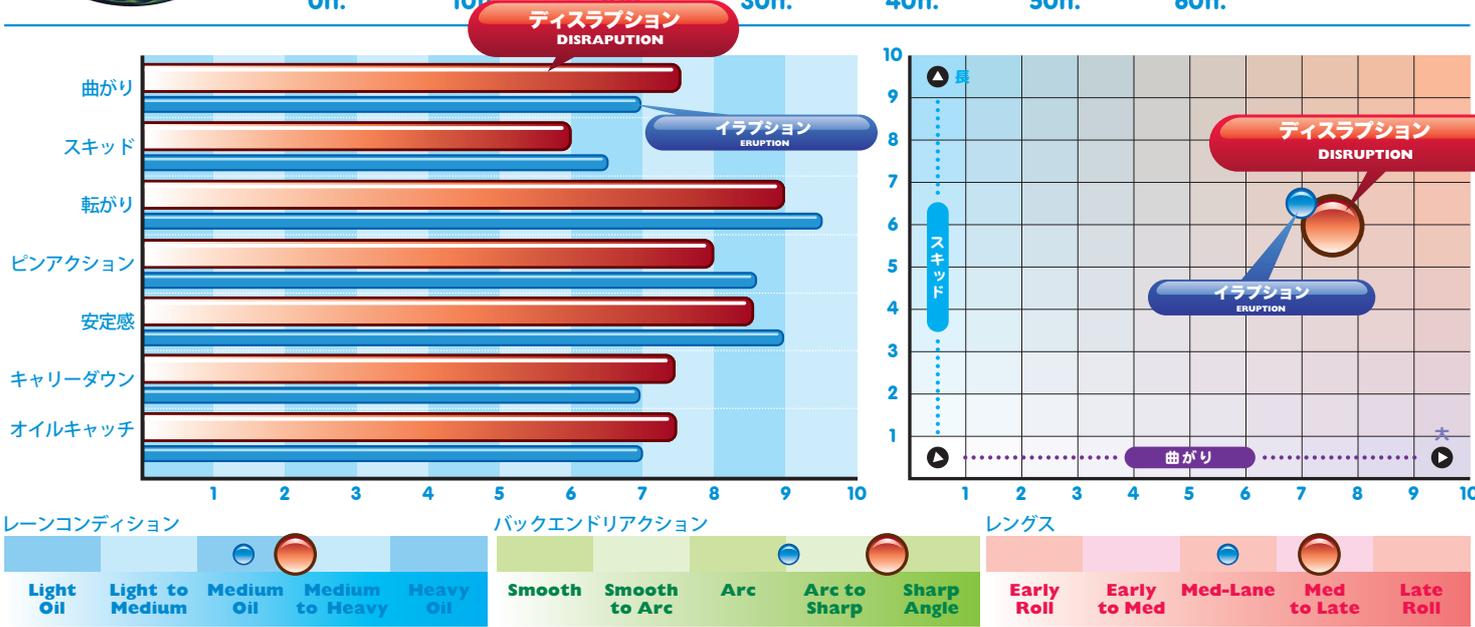
PAPからピンとの距離  4 インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



**ボールの評価**

長年親しまれたコロンビアのマーキングを一新し、新生コロンビア社は新たな可能性と更なるパフォーマンスのを求め始動しました。今回その第一弾、DISRUPTIONをご紹介します。

このDISRUPTIONはERUPTIONのフルモデルチェンジとして作成されましたが、フリップ感が持ち味で転がり続けるコントロールしやすいリアクションから一変し、スキッドから一気に角が出るように向きを変える、攻撃的なリアクションが持ち味の性能に仕上がっています。

投球したイメージは、ERUPTIONのフルモデルチェンジの性能と知っていたので、最近発売された殆どのERUPTIONシリーズと比較投球を行いました。スキッドレベルはVIOLENT ERUPTIONと同じぐらいなのですが、先での動きが強いと思われていたVIOLENT ERUPTIONよりも向きの変り方が急激で、一気に向きを変える角の出るリアクションが印象的でした。コントロール性の高いERUPTIONも良いのですが、用途の違いで入射角の取りやすいDISRUPTIONも爆発力のある点数を導き出せる性能にも感じましたし、何よりここ最近でここまで角が出る攻撃的なスベックはない領域を発売してきたことが、「新生コロンビア」の意気込みとも感じることができます。

間違いなくこういう性能は「日本好み」だと狙ってカタログボールに仕上げるところは、日本のマーケットも意識したうえでのチョイスであることは言うまでもありません。

ERUPTIONシリーズは初代から今まで多くのユーザーに愛され結果も残してきました。そして今回のDISRUPTIONもきっとその期待に応えるべく、満足いく性能を魅せてくれるでしょう。

**特記事項** **新生第一弾のDISRUPTIONは走って角が出る攻撃的リアクション性能。表面の光沢を消すことでミディアムヘビーにも対応でき、用途の広さを感じるボールです。**